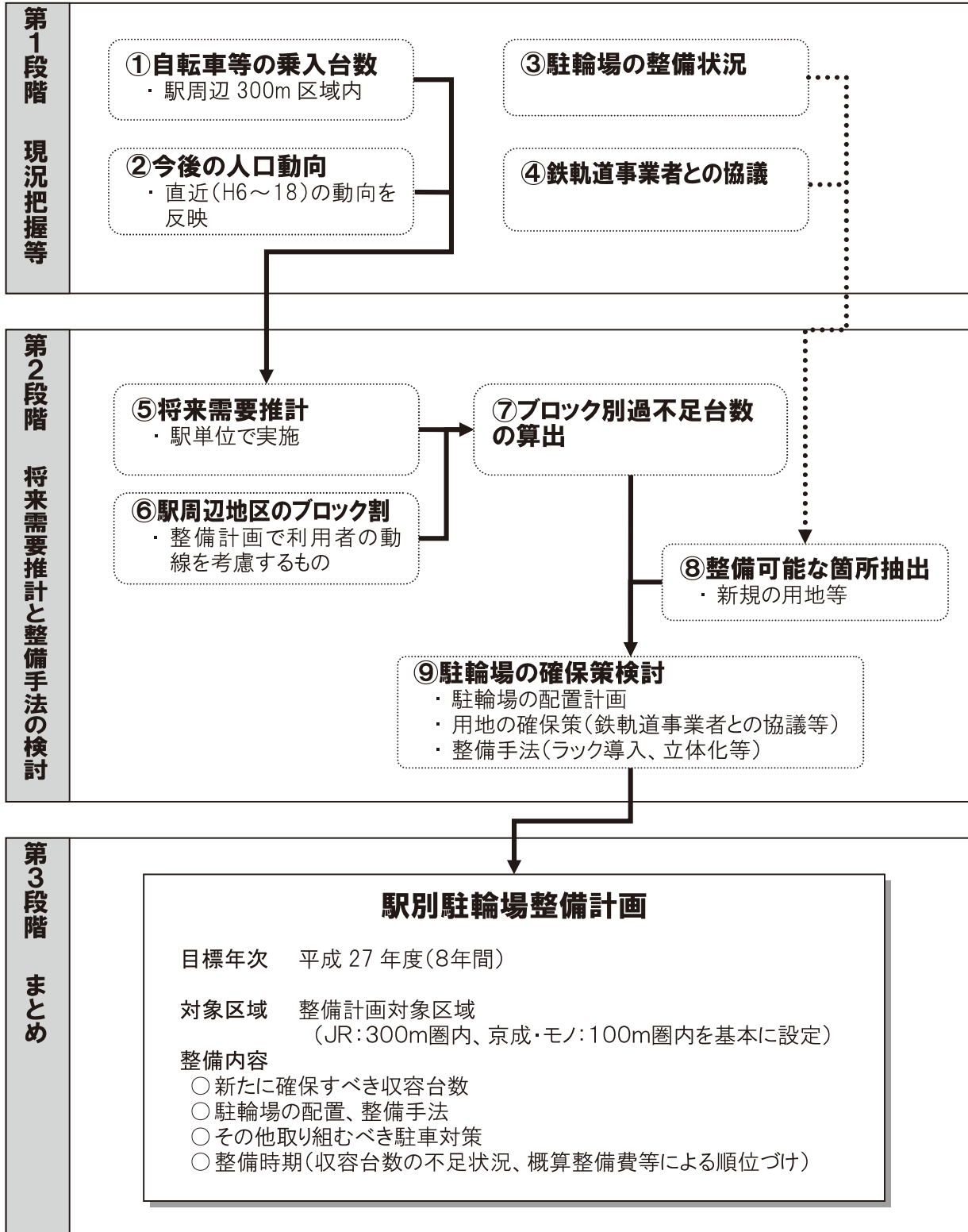


4. 駅別駐輪場整備計画

4-1 整備計画作成にあたっての考え方

(1) 検討フロー



(2) 現況

○ 自転車等の乗入台数 …検討フロー図①

調査時点	平成18年10月30日(月)晴天の午前3時、午前10時、午後3時の3回実施。
調査方法	市の駐輪場内の自転車等、市内各駅周辺(駅を中心とした半径300m圏内の道路上に放置されている自転車等の台数をカウント。
調査結果	①乗入台数 約5万5千台 (内訳) 駐車約3万5千台、放置約2万台 ※ピーク時、午後3時時点。 ②主な特徴 ・乗入台数がピークとなる時間帯は、ほとんどの駅で午後である。 ・駅によっては、深夜時間帯の駐輪場に相当数の自転車等が残る。

○ 駐輪場の整備状況 …検討フロー図③

箇所数	市内44駅周辺105箇所 ※H19.7.1 現在
収容台数	約6万台 ※H19.7.1 現在

(3) 将来需要推計

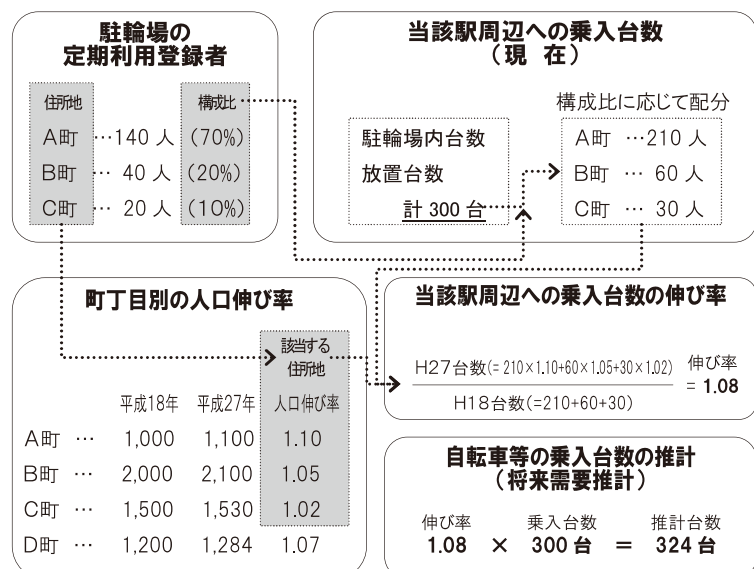
○ 今後の人口動向 …検討フロー図②

確保すべき駐輪場の収容台数の検討にあたり、計画目標年次(平成27年度)における各駅周辺への自転車等の乗入台数を算定するため、町丁目別の人口推計を行った。

- 平成16年度千葉市第2次5ヵ年計画策定基礎調査による平成27年の区別推計人口(推計A)を基本とした。
- 次に、平成6～18年の住民基本台帳等の登録人口の動向に基づいて算出した町丁目別の人口伸び率によって、平成18年の人口から平成27年の人口(推計B)を推計した。
- 推計Bを行政区別に集計して推計Aと比較し、推計Aに合致するよう、区別の補正係数を算出し、これを推計Bに乗じて、平成27年の町丁目別の推計人口(推計C)を算出した。
- 最後に、推計C÷(平成18年の登録人口)により、町丁目別人口伸び率を算出した。

○ 将来需要推計 …検討フロー図⑤

平成18年度の駐輪場の定期利用登録者の住所地別の構成比を用いて、駅口別の乗入台数(駐輪場内の駐輪台数+放置台数のピーク台数を使用)を按分し、町丁目別の人口伸び率を乗じて、平成27年度時点の乗入台数を推計した。



(4) 整備計画の検討

○ 駅周辺地区のブロック別過不足台数の検討 …検討フロー図⑥・⑦

駅に乗入れる自転車等の動線を考慮した整備計画とするため、駅周辺地区を鉄道及び道路(幹線道路など)によりブロック割りを行った。

将来需要推計で算出した確保すべき駐輪場の収容台数をブロック別に配分し、そのブロック内の既存の駐輪場の収容台数と比較して、過不足台数を算出した。



○ 整備可能な箇所の抽出 …検討フロー図⑧

既設の駐輪場の再整備によって不足する収容台数を確保することができない駅周辺については、鉄軌道事業者に対する用地提供等の協力要請を行うとともに、未利用の市有地や広幅員歩道・高架下などの道路の一部など、利用可能な箇所を抽出した。

○ 駐輪場の確保策の検討 …検討フロー図⑨

確保すべき収容台数を充足させるため、用地やコストなどに関する制約を踏まえた整備・再整備の手法について検討を行った。